

大阪大学大学院 学生員○両角浩典
大阪大学工学部 正 員 森 康男
大阪大学工学部 正 員 田中聖人

1. はじめに

近年高齢化社会が進んで行くにつれて、高齢者が外出する機会も多くなってきている。一方現在の道路は車中心となり、高齢者が安全に歩行できるための施設整備が極めて遅れた状態にある。その結果、高齢者が関係する交通事故（特に高齢歩行者の事故）が増加している。高齢者が安全に歩行できるような道路環境に整備していくことが今後の課題である。本研究においては、高齢歩行者の事故と日常歩行時の利用経路の側面から、高齢者の歩行時の安全について考察を行ってみる。

2. 調査及び収集データについて

高齢歩行者の事故の特徴をみるために用いたデータは、平成元年～3年度の吹田市内の事故データ86件である。更に平成2年度の兵庫県内の高齢歩行者の横断事故当事者75人に対して、横断時の意識調査を行った結果を用いた。利用経路の特徴については、各家庭を訪問して最寄りの鉄道駅までの利用経路とその経路上の危険箇所に関する意識調査を行い、188人から回答を得られた。

3. 歩行時の事故の特徴

高齢歩行者の事故について事故類型別にみると、図-1より、横断時の事故が69.8%と非常に高くなっている。また、横断事故当事者に対する意識調査の結果についてみてみると、図-2より、横断する際44%の人が左右の安全確認をしたと回答している。更に車が到着する前に横断できると思ったかという問に対しては、34.7%の人が横断できると思ったと回答している。その一方で、横断できるかわからずに横断して事故にあった人が41.3%と、非常に高くなっている。

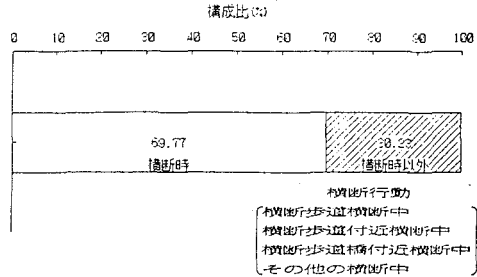


図-1 法令違反別事故件数

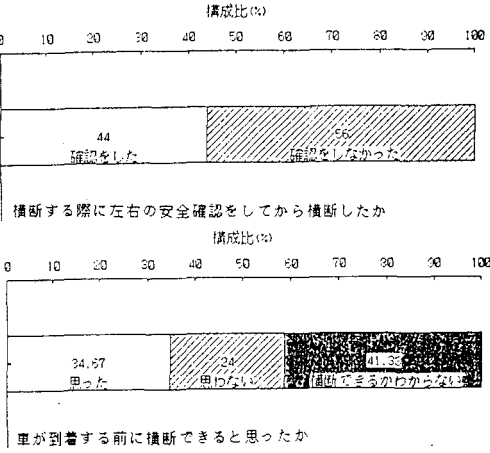


図-2 横断事故当事者の横断特性に関する意識調査

4. 高齢歩行者の利用経路の特徴

高齢歩行者の最寄りの鉄道駅までの利用経路について、最短経路を利用している人の割合を、年齢層別にみると、図-3より、どの年齢層においても最短経路を利用している人の割合が、非常に高くなっている。更にこのことは、加齢に伴って高くなっている。

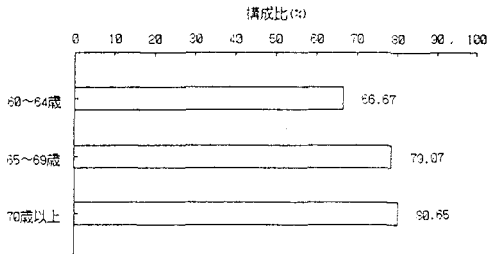


図-3 年齢別最寄りの鉄道駅まで最短経路を利用している人の割合

次に利用経路上の横断必要区間に複数の横断箇所がある場合に、どの部分で横断するのかをみると、図-4より、その区間上に一箇所も信号が設置されていない場合については、車道幅員にかかわらず、家に近い横断箇所での横断する人の割合が高くなっている。一方その区間上道の全ての横断箇所に信号が設置されている場合幅員については、最も手前の横断箇所での横断する人とそうでない人の割合がほぼ半数になっている。この結果は次のことの反映といえる。すなわち自分が横断しようとした場所の信号が青であればそのまま横断するが、赤であればそこでは横断せず次の横断箇所での横断するという横断行動の特徴が存在することである。以上の結果から高齢歩行者の利用経路の特徴としては、とにかく最短経路で行きたいという気持ちが強くなっている。また横断については、信号のない道路区間では、家の近くで横断を済ませてしまう傾向が強く、信号のある道路区間では、信号の青のタイミングによって、横断地点を選んでいるといえる。

5. 利用経路上の危険箇所について

次に利用経路上の危険箇所について、どのような道路形状で多いのかをみると、図-5より、交差点が45.6%と非常に多くなっている。また利用経路上に危険な箇所があると指摘している人についてみると、図-6より、46.3%の人が利用経路上に危険な箇所があると指摘している。次に、日常歩行時に危険な箇所があった場合に、多少遠回りになってもよいから危険なところを避けるために迂回しようとするかどうかをみると、図-7より、40.8%の人が危険なところを避けようとは思わないと回答している。高齢者は日常歩行時において最短経路を利用する意識が非常に強く、危険なところを避けて迂回しようとする意識は低いものと考えられる。

6. おわりに

本研究では、高齢者の事故と日常歩行時の利用経路の側面から歩行時の安全についての検討をおこない、横断の問題性を指摘できた。今後ルート整備をする上において、高齢者が安全に利用しやすい横断施設を開発することが、重要な整備課題となってくる。

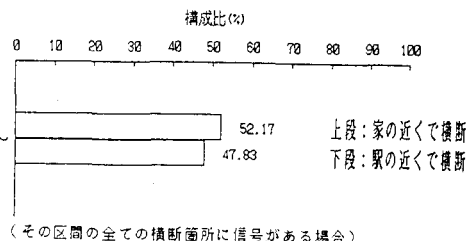
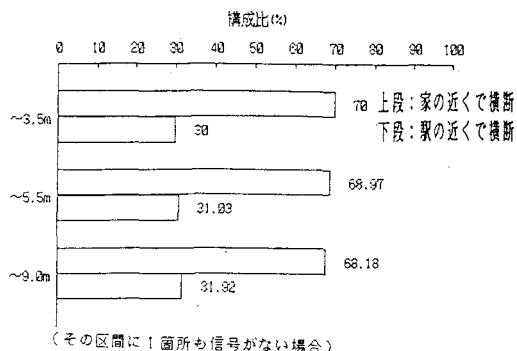


図-4 複数の横断箇所がある場合どこで横断するか

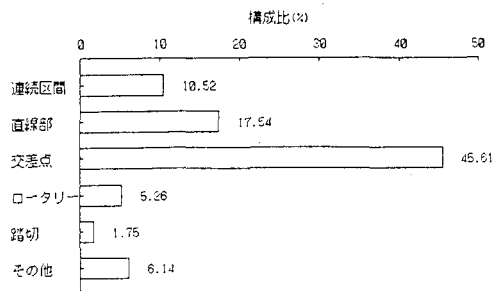


図-5 利用経路上の危険箇所の道路形状

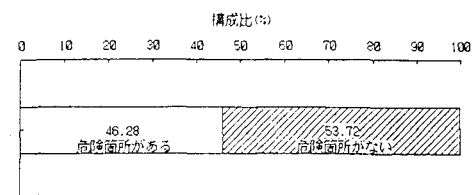


図-6 利用経路上に危険な箇所があるか

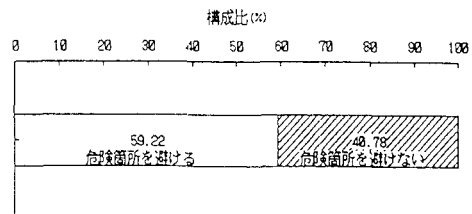


図-7 多少遠回りになってもよいから危険な箇所を避けようと思うか